

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (東北)	◎	住関連専門店（経営者）	・受注生産なので、コロナ禍のなかでも受注予約が入っているものは納品しなければならない。しかし、ウッドショックの影響で、納期が守れるか厳しいことも出てくるのではないかと懸念している。
	○	百貨店（売場主任）	・ワクチン接種が若年層にも進み、個人需要の上向きに期待するが、取引先の生産減の動きもあり、商品確保において不安材料もある。
	○	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の一方で、ワクチン接種拡大による外出自粛緩和が予測される。
	○	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染の収束状況の影響を受けるとみているが、秋冬物の本番になる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・ワクチン接種が少しずつ進んでおり、2～3か月後には全員終わることを期待している。
	○	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・ワクチン接種の拡大等に伴う感染対策の緩和により、秋の行楽は回復することを期待している。
	○	観光型ホテル（スタッフ）	・10月以降の予約はある程度伸びつつある。
	○	旅行代理店（従業員）	・ワクチン接種の拡大に伴う集団免疫の獲得によって客の外出に対する心理的不安が緩和され、それが人流拡大につながることを期待したい。
	○	競艇場（職員）	・来場促進のため徐々にイベントを再開していく方向で進んでいる。新規客が見込めれば売上は増えると予想される。
	○	住宅販売会社（経営者）	・一般物件の倉庫、工場、鉄筋コンクリート造りの集合住宅等の受注が好調で、年度内の受注目標値を超える見通しだが、木造住宅の受注は低迷したままである。
	□	商店街（代表者）	・感染再拡大の影響が出てくる。
	□	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・学校での新型コロナウイルスのクラスター発生などもあり、巣籠り状態は相変わらずである。そのなかで、書籍、楽器に対する消費マインドが上がることは考えられない。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・物価や商品に問題があるわけではなく、新型コロナウイルス感染者数に合わせて来客数が増えたり減ったりしている状況である。来客数が回復しない限りは、売上も上がらない状況が続くとみている。客単価はそれほど悪くないが、客足が悪いことにより、前年に届くのは厳しい状態である。
	□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・唯一の救いとなるワクチン接種も、ここに来てワクチン不足により接種ができず、多くの人がいら立ちを感じている。良い兆しは何もない。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・コロナ禍の終息が見通せないなか、世の中が対応すべく変化しつつある。新たな需要やサービスが生まれ、それなりの安定感が出てくるとみている。
	□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・今の状況のもとで商売をするのは非常に難しいが、感染対策をしっかりとって仕事に結び付け、少しでも売上を伸ばしたい。
	□	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況に左右される状況ではあるが、来客数や購買量に変化はみられない。2～3か月先にはワクチン接種が若年層にも進み、消費マインドにポジティブな影響が出ることを期待している。
	□	百貨店（買付担当）	・ワクチン接種が進まないなかの緊急事態宣言は影響が大きかった。感染者数も減っておらず宣言解除の見通しも立っていないため、ワクチン接種が進まない限り現状は変わらないとみている。
	□	百貨店（経営者）	・緊急事態宣言により更に消費は冷え込み、ワクチンの接種が進んだとしても回復には時間が掛かる。オンラインや宅配などを強化するが店頭をカバーするには至らない。
	□	スーパー（店長）	・市内での新型コロナウイルス感染者数の急増の影響も加わって、来客数の減少、客単価の減少が続いている。この状況は今後も続きそうである。

<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・月初めは動きが出てきて少し期待していた。買上点数も堅調、買上単価もほぼ横ばいという状況であったが、後半はまん延防止等重点措置適用、緊急事態宣言発出ということで、再び客足が減少している。今後、新型コロナウイルスの影響がどうなるか分からないので、先行きの見通しは不明である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・ワクチン接種が進んでいないことや新型コロナウイルス変異株の感染者数が増えていることによる影響が大きい。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・ワクチン接種割合の増加に伴う来客数増も期待したいが、現時点では兆候がみられない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・ワクチン接種が進んでいるので、10月をめぐりに変わってくると予測はしているが、新型コロナウイルス変異株の影響がどうなるのか予測がつかず、人の動きが良くなるとの楽観視はできない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・お盆休みが明けて新型コロナウイルスの感染者数が急増し、飲食業や小売業は大変な状況である。回復基調には程遠いとみている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・我々のような業態は、新型コロナウイルスによって出張や帰省ができない、経済活動ができないといったことに大きく左右される。現状の感染の拡大をみる限りは先も読めず、変わらないのではないかとみている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・ワクチン接種率が7割近くまで上がり、各地で出されている新型コロナウイルス対策宣言が解除されて初めて、消費者が買物という行為を行うようになってくる。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	・緊急事態宣言発出、まん延防止等重点措置適用エリアの拡大により、消費は冷え込んだ状態が続くと考えられる。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数が減らない限りは、高齢者は外に出ず買物にも出て歩かない。3か月先までに新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くとは思えず、主な客が高齢者である当店においては、このまま推移していくのではないかとみている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔靴〕（従業員）	・ワクチンの接種が進んでおらず、外出自粛傾向は当面続くとみている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・ここ数か月で状況が良くなるとは考えづらい。値段のたたく合いのようなことはしたくないのだが、現状はそうせざるを得ない。ネット販売に押されて利益確保が非常に厳しいことも要因である。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染が進んでいるが、人流の抑制はできておらず、余り変化はないとみている。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・1にも2にも重要なのは感染の収束である。このままの状態が続くようであれば、売上の低迷が長引くことが予想される。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経営者）	・3か月後に新型コロナウイルスの感染が収束していない場合は、このままの景気がずっと続くとみている。余り期待はしていない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・8月にまん延防止等重点措置から緊急事態宣言へと移行し、年内の景気は変わらなそうである。宴会もレストランも総菜ショップも依然として振るわず、どの部門も変わらない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（支配人）	・新型コロナウイルス感染者数の増加に伴い県独自の緊急事態宣言が出てから、来客数が大分減っている。前年と比べても落ちている。ただ、新型コロナウイルスの感染状況次第では回復するとみている。いずれにせよ新型コロナウイルスの感染状況が鍵となる。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・これ以上悪くなりようがないが良くなる期待もできず、現状から大きな変化はないのではないかとみざるを得ない。大変厳しい。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・我々の業界は、新型コロナウイルスの感染がどうなるか次第で良くなるし悪くなる。新型コロナウイルスの感染が収束すれば人は必ず出てきてくれるとみているので景気は良くなるが、拡大していくようだとこれまで同様景気はどん底になる。

□	観光型旅館（スタッフ）	・東京オリンピック期間中に各地に出された緊急事態宣言などでは人々の動きは抑制されず、その動きにより景気という部分では変化はない、若しくは皮肉なことに上昇に転じる可能性がある。
□	旅行代理店（従業員）	・まん延防止等重点措置から緊急事態宣言に移行しており、良くなる要素は何もない。
□	タクシー運転手	・当県の新型コロナウイルス感染者数が少なくなっても、関東地方や関西地方の感染者数が少なくなる限り、外出控えが大幅に改善されることは考えづらい。コロナ禍が改善されるとしても、年が明けてから少しずつになるとみている。
□	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息が不透明である。テレワークが可能な業種とできない業種の差がある。消毒業者はコロナバブルになっているという声がある。業種によっては売上利益が上向いている。倒産による失業者が増えている。これらの状況から変わらないと判断している。
□	通信会社（営業担当）	・良くなる材料に乏しい。このまま良くない状況は続くともみている。
□	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が一気に進んでおり、テレワークや自宅時間が増えることになるため、放送、通信共に現在の加入者は継続しての利用者が多くとみている。自粛生活がしばらく続くことが予想され、消費動向の改善も期待できない。ただし、新規のサービスエリアの展開を予定しているため、若干の新規加入者を期待している。
□	通信会社（営業担当）	・コロナ禍で特段のイベントもなく巣籠り状態が続いていることから、変化は余り期待できない。まん延防止等重点措置が適用され更に制限が課される業種にとっては影響が大きくなる。
□	テーマパーク（職員）	・感染者数の増減や緊急事態宣言の発出・解除、まん延防止等重点措置の適用・解除により状態はすぐ変わってしまう。良くなってもすぐ悪くなるためトータルすると変わらないか、マイナス傾向になる懸念がある。また、秋冬はウイルスのまん延が懸念されることも不安材料である。
□	観光名所（職員）	・予約状況は非常に悪い。ワクチンの2回接種が終わった人や、緊急事態宣言に慣れて出歩いているような感じの人が日々振り客として訪れている。よって、来客数は今以上に今以下にもなり得ないことから、現状のまましばらく推移するのではないかとみている。
□	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの若年層への感染が広がっているため、全体的にワクチン接種が進まないと、この状況は変わらないとみている。当県の接種完了時期は11月までを目指しているようなので、その頃までは変わらないのではないかとみている。
□	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・石油ストーブ、ファンヒーター、温水ルームヒーター等の住宅設備機器の暖房機器については、前年の特別定額給付金効果のようなものは見込めない。リフォームは大型工事の間合せが少しずつ増えてくるとみている。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染の拡大がかなり深刻になってきており、この先短い期間で収まるとは考えにくい。まん延防止等重点措置の適用が商売にかなり響いており、予約もほぼゼロである。
▲	商店街（代表者）	・ワクチン接種が当初予定より遅れており、年末にかけての景気回復は期待できない状況である。
▲	商店街（代表者）	・コロナ禍で季節感もなく、消費者の購買意欲も上がらない。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染爆発が発生しており、収束には時間を要する。
▲	一般小売店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収まらないと良くならない。
▲	スーパー（経営者）	・9月は感染急拡大の影響で一段と巣籠りが多くなり、消費へのマイナス影響も強くなるものとみている。一部を除き、これから更に厳しくなる業種・業態、企業が増え、解雇・雇止めも増え、収入が減る人が増えることを懸念している。ワクチン接種が早急に進み、その効果が出てくることを期待しているが、しばらくは一段と厳しい消費環境が続くものとみている。

▲	スーパー（経営者）	・ワクチン接種が進む中で、感染力の強い新型コロナウイルス変異株の感染が脅威となっている。1回当たりの買上点数は上がっているが、来店頻度が下がり全体的に悪くなる傾向になることが予想される。
▲	スーパー（店長）	・コロナ禍の影響がどこまで続いていくか予測をしにくいいため、経済活動が縮小均衡となり、結果として収入不安から支出を抑制する動きが出てくると考える。
▲	スーパー（店長）	・暑さも落ち着き、新型コロナウイルスの影響も変わらないとなると、急激に業績が良くなることはない。
▲	スーパー（企画担当）	・2～3か月後にはワクチン接種がかなり進み、今までの内食需要も段々と陰りを見せてくると予想している。食品小売業に関しては2～3か月後はやや悪くなっていくのではないかとみている。
▲	スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルス感染が全国的に拡大している。当県も独自の緊急事態宣言を発出し飲食店の売上、来客数に影響を与えていることから、全体の景気悪化が懸念される。今後は商業施設への来客数ダウンが予測されることから、売上に影響が出て全体的にやや悪くなるとみている。
▲	スーパー（営業担当）	・秋のイベントの中止が多くなり、季節商材の販売に影響が出るのではないかと懸念している。春からの天候不順による青果物や地場産品の不作で販売が苦戦していることから、消費が減少することを不安視している。
▲	コンビニ（経営者）	・感染者数の増加でますます厳しくなるとみている。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス終息は全く見通せない状況であり、一定期間来客数の減少は継続すると推測される。
▲	コンビニ（店長）	・9月12日まで緊急事態宣言中となり、リモートワークを行っている会社に勤める客は来店が減る。また、10～11月には選挙がある。選挙になると街中は特に夜の人出がなくなるので、見通しは余り良くない。
▲	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス感染が危機的状況のなか、当県にも緊急事態宣言が発出されている。不安感がつり、自主規制はこれまで以上に強化されるのではないかとみている。
▲	衣料品専門店（経営者）	・感染拡大とワクチン接種の進行状況に不安感が募り、消費意欲に今まで以上の影響が出ると予測する。
▲	家電量販店（店長）	・季節商材の売上は気温など季節要因によって変わるが、冷蔵庫や洗濯機、テレビなどの買換え需要も、新型コロナウイルスの問題があつて少し買い控えが発生しているようである。単価も来客数も下がっているので、2～3か月後も悪くなるのではないかとみている。
▲	家電量販店（店長）	・感染拡大が更に進むと予想している。外出を避ける方が増えていくとみている。
▲	乗用車販売店（従業員）	・現状のまま生産カットや納期遅れが続くようであれば売上を見込めない。改善される兆しがみられればよいが今はない。
▲	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス感染と半導体問題で、世界的な製造調整がニュースで流れている。新車は長納期化しつつある。売上に反映するまでに時間が掛かる。中古車市場はやや活性化しているが、価格が高騰してきている。日々の売上はサービスに頼らざるを得ない。法定点検の対象車両は減りつつある。現状維持が精一杯である。
▲	乗用車販売店（店長）	・月末から当県も緊急事態宣言対象地域に指定されるため、これまで踏ん張ってきた飲食系の客からも今後車に掛かる費用を抑えたいという声が聞こえている。中には減車を予定している会社もあり、状況は更に読めない。
▲	自動車備品販売店（経営者）	・県外への移動の禁止等により遠出をしないため車の走行距離が少なく、車検修理に伴う交換部品が出ない。大型トラックも荷物が少なく、乗用車と同様である。また、電子デバイスを使用した製品を作っている会社なども出荷量が減っている。
▲	観光型旅館（経営者）	・感染者数の増加により緊急事態宣言の対象地域も拡大され、景気の持ち直しの気配はみられない。
▲	タクシー運転手	・緊急事態宣言が発出されることから、人の動きが止まる。
▲	通信会社（営業担当）	・コロナ禍がある程度収束しない限り、当面景気は低迷が続く。
▲	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息が見えない。

	▲	遊園地（経営者）	・期待したワクチン接種の進展だが、新型コロナウイルス変異株により効果が不透明になり、秋期の好転が見通せない。
	▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・頼みのワクチン接種も順調ではなく、その効果も長続きしないようなので、先の明るい材料はない。
	▲	設計事務所（経営者）	・終息の見えない新型コロナウイルス対応への不安や不満を口にする客が非常に多い。この状態が長引くと楽観的な考えを持つこと自体が難しくなり、精神的な落ち込みが経済にも影響するとみている。
	▲	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・現状からみて、集客につなげるイベント実施が難しいと考えているため、来場者数が減少することを予測している。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・9月12日には緊急事態宣言が解除になるが、それでもシャッターを開けて営業をする店がどの程度いるか非常に疑問である。このまま客足が戻らなければ、繁華街は壊滅状態になるということも考えられる。
	×	スーパー（経営者）	・原材料の値上げ等から商品、製品の値上げが続いているが、現場における商品への価格転嫁はすぐには難しい。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス変異株でかなり厳しい状態が続いている。新型コロナウイルス感染の収束に期待したいが全くみえないので、そういった面ではこの先もかなり厳しくなる。
	×	コンビニ（経営者）	・感染者数も増えてきて、県独自の緊急事態宣言が発出され、特に夕方の客が少なくなっている。これからどうなるか正直分からない。
	×	コンビニ（経営者）	・10月の最低賃金の引上げで経営がかなり厳しくなる。現状でもギリギリの状態なのに地獄の経営になる。首が回らなくなるオーナー、中小企業が増えてくるのではないだろうか。何故景気が上がらない状態で最低賃金を上げるのだろうか。
	×	家電量販店（従業員）	・新型コロナウイルス感染爆発による客の外出自粛により、売上が減少するとみている。
	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・現状や政府の対応をみるに、年末までは状況が好転する材料が見当たらない。ワクチン接種が行き渡って数的に収束の傾向がみえないと好転しないと考えている。
	×	その他専門店〔食品〕（経営者）	・国のかじを取る人に信頼がないので、年内はこのままの状況が続く。
	×	一般レストラン（経営者）	・ワクチン接種の状況や感染者数の減少が売上にかなり影響するので、新型コロナウイルス感染症の落ち着き次第である。このまま続けばかなり厳しい。
	×	一般レストラン（経営者）	・当エリアだけでなく全国的に人の往来を止めなければ、一時的に感染者数が減ってもすぐに増えるの繰り返しになる。これでは何か月たっても個人の行動に制限が掛かったままであり、特に夜はゴーストタウンのような状況が続く。これでは景気が悪くなって当然である。
	×	観光型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス変異株の増加の影響などがあり、感染者数の減少は見込めない。
	×	旅行代理店（従業員）	・旅行業界においては、現在、秋シーズンの予約販売は伸びない状況にある。今後新型コロナウイルス感染者数が減少し、出発直前予約が発生した場合であっても、景気回復といえるまでの実績には到底至らない。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスがこの先のような変異をするのか予測が付かない。ワクチンの3回目接種をしなければならぬとか、我々には想像もできないことが発生しているため、先が全く読めない状況である。
企業 動向 関連  (東北)	◎	建設業（企画担当）	・ワクチン接種による大幅な改善というのは皆の共通認識とみている。ワクチン接種者数についても順調に伸びている。
	○	金属製品製造業（経営者）	・受注量が更に増える予定がある。
	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	・コロナ禍で大変な思いをしている店や企業が試行錯誤し努力した結果がこれから徐々に現れてくると期待している。
	○	建設業（従業員）	・コロナ禍による個別の事業計画の遅れが顕在化しているものの、下半期に向けて大型公共工事の出件が見込まれるため、やや上向くものと推測される。
	○	通信業（営業担当）	・2度目の緊急事態宣言で、今までテレワークに消極的だった企業も環境整備に乗り出してきている。
	□	農林水産業（従業者）	・後半のものの収穫直前に台風9号による強風が吹き荒れ、果物の落下と枝ずれが多くあり、遅霜の影響とともに2～3割の被害が出るものと予想される。

□	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収まらなると土産需要はかなり厳しい。他の販売ルートも模索しているが、商談も新型コロナウイルスの影響がありなかなか進まない。
□	食料品製造業（営業担当）	・ワクチン接種も進んでいるが、現時点では良くなる兆しがない。今月より良くなるのは、来年以降とみている。
□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・依然、新型コロナウイルスの終息が見えない。
□	電気機械器具製造業（企画担当）	・最近の半導体価格の下降現象はこれまでと同様の傾向であり、コロナ禍での上げ止まりが特別であった。したがって、この現象が続いても、景気という面では大きな変化はないと考える。
□	輸送業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響は当面続き、回復までには相当な時間を要する。
□	通信業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響を受けていることに共感し合いながら、客との良好な関係を築いていけるよう努力を続けていく。
□	金融業（営業担当）	・ワクチン接種が済み、新型コロナウイルスの感染拡大が収まるまでは厳しい状況が続くと見込まれる。
□	広告業協会（役員）	・ワクチン接種と感染者重症化率の相関関係が明確になり、イベントへの参加基準が確立され、開催へ前向きな情勢になることを期待している。イベントの開催が広告業界回復の鍵となる。
□	広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着くとは思えない。今年度は耐えるしかないのではないかとみている。
□	広告代理店（経営者）	・ワクチン接種が今以上に進み、感染拡大が収まるには、まだ数か月掛かるとみている。
□	コピーサービス業（従業員）	・新型コロナウイルスの終息が見えない。また、品不足解消の見込みもないため、現状と変わらない状況が続くとみている。明るい材料が見当たらない。
□	その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大を封じ込める具体的な手立てに代わり映えはなく、その時々々の感染状況に合わせた対応でありコントロールができていない状況はなく、感染封じ込めには程遠い。
□	その他企業〔協同組合〕（職員）	・半導体製造関連は良くなっているが、製造業全般には足踏み状態が続いている。新型コロナウイルス感染の拡大が更に続けば後退局面に向かいかねない。
▲	食料品製造業（営業担当）	・ワクチン効果に期待はしたいが、新型コロナウイルス変異株の威力も見逃せない。今のこの状況のみを限り、今年はまだ観光での売上は期待できないのではないかとみている。
▲	窯業・土石製品製造業（役員）	・出荷量については、官需・民需の工事増加が見込めない。景気も新型コロナウイルスの感染拡大や大雨の影響等で盛り上がらない。
▲	輸送業（経営者）	・現首相からワクチン接種を希望する全ての人に対し、10月から11月の早期に接種を終えられるよう取り組むとのコメントがあったが、このとおりに進捗したとすれば、10月頃から景気が少し上向いてくるのではないかとみている。大いに期待するところである。
▲	金融業（広報担当）	・新型コロナウイルス変異株の全国的拡大により、引き続き観光・宿泊関連に光が見えない。さらに、県内の感染状況次第では地域経済活動自体に抑制圧力が掛かるのではないかと懸念がある。
▲	経営コンサルタント	・当県に緊急事態宣言が発出されるなど、相変わらずの景気下押し圧力が強い。
▲	司法書士	・工務店において木材の確保ができず、住宅着工が遅れるという声を聞く。ハウスメーカー大手以外は苦戦するのではないかとみている。
▲	公認会計士	・当県も緊急事態宣言の対象に含まれたので、飲食、小売、サービス業の景気は悪くなると予想される。建設業等は短期的には景気が悪くなるとみている。
▲	その他企業〔企画業〕（経営者）	・本県も緊急事態宣言対象地域に指定されたことで深刻な客離れが発生しつつある。夏場まで何とか持ちこたえていた旅館が閉鎖ギリギリまで追い込まれており、深刻な事態が現実味を帯びている。
×	農林水産業（従業者）	・新型コロナウイルス等の影響で米の需要が減少しており、米価が下落することが予想される。

	×	出版・印刷・同関連産業 (経営者)	・新型コロナウイルス感染者数が増加しており、ワクチン接種の効果がまだみられない状態であることから、経済活動においては制限、制約が更に厳しくなるし、せざるを得ない。立ち直りまでは最低でも1年は時間を要するのではないかとみている。
雇用 関連 (東北)	◎	人材派遣会社(社員)	・コロナ禍にあって、eコマースの進展からIT系技術者の依頼が増加しつつある。同時にプログラマーやシステムエンジニア職の相談も発生している。専門職の需要は根強いいため、今後更に募集に注力する必要性が高くなるとみている。
	○	人材派遣会社(社員)	・募集背景も先々を見据えた体制強化のための募集が多く、求人数自体も増加している。
	○	職業安定所(職員)	・少子高齢化による労働力人口の減少の影響もあるものの、幅広い業種の企業が人手不足を訴えており、求人活動が活発な状態である。
	○	職業安定所(職員)	・7月の新規求人数と有効求人数を前年と今年で比較すると、新規求人数は約400人、有効求人数は約1000人増加している。前月に続いて増加傾向がみられる。
	□	人材派遣会社(社員)	・緊急事態宣言が解除されないことには、採用活動が再開されない状況である。ニーズがなくなっているわけではないのだが、全てにおいて活動が先延ばしになっている。まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が解除されたら、復活の兆しが出てくるのではないかとみているので、9月については景気改善の傾向はみられないのではないかと考えている。
	□	人材派遣会社(社員)	・ワクチン接種も進んでいるが、全体的な求人や企業の動きは様子見の感じが強く、当面変わらないとみている。
	□	人材派遣会社(社員)	・ワクチン接種は進んでいるが、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の拡大により自粛ムードが再び高まっている。
	□	職業安定所(職員)	・新型コロナウイルス第5波といわれながらも、前年のような求人の減少はなく底堅い。しかし、求人増加の勢いも弱い。
	▲	人材派遣会社(社員)	・新型コロナウイルス変異株の猛威により、経済活動の停滞がどの程度長引くか見通せない。
	▲	アウトソーシング企業 (社員)	・ワクチンの接種率が上がっているが、感染者数も増えるという状況で、コロナ禍の影響がいつまで続くのか分からない。
	▲	新聞社[求人広告](担当者)	・新型コロナウイルス感染症の急拡大を受け、県が当地の飲食店に対し営業時間の短縮を初要請している。飲食業、観光業への影響は大きい。
	▲	職業安定所(職員)	・ワクチン接種が始まっているが、それでもなお感染者数が増加傾向となっているため、人流抑制の政策が採られた場合に採用時期の先延ばしなど、経済活動が縮小せざるを得ない。
	×	人材派遣会社(社員)	・緊急事態宣言の影響で、北日本はお祭りシーズンの時期にもかかわらず、飲食含め非常に厳しい状況である。今後その影響が数字として出てくるとみられる。
	×	新聞社[求人広告](担当者)	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響は続く。
	×	新聞社[求人広告](担当者)	・緊急事態宣言の発出に伴い、10～11月で予定していた事業の縮小や中止が決定されるなど、大きな影響が出始めている。今後、同様の対応は一層増え、景気の悪化が激しくなると予想している。
×	学校[専門学校]	・新型コロナウイルス感染者数が増加し、県独自の緊急事態宣言が発出されている。感染者数は増加傾向で、まん延防止等重点措置適用の要請もしている。対象地域となれば景気悪化の要因になると考えられる。	